岡本眸の冬の句

さみしさが寒さとなりし鏡閉づ

残照や歩まねば吾も一冬木

些事山をなす水際のふところ手

黒手套嵌めたるあとを一握り

ポケットに摑む暗がり年つまる

松岡隆子　抽